

今日のテーマ

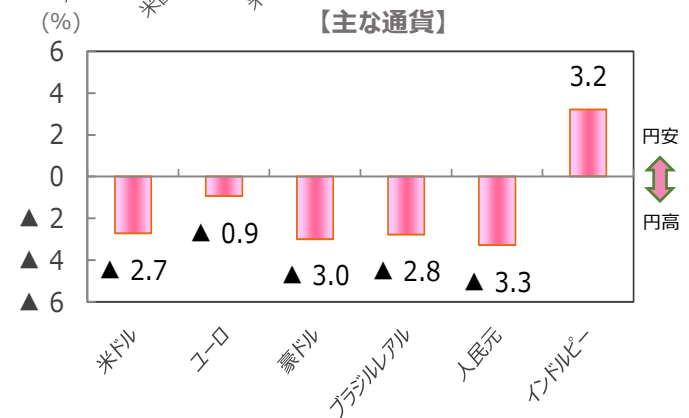
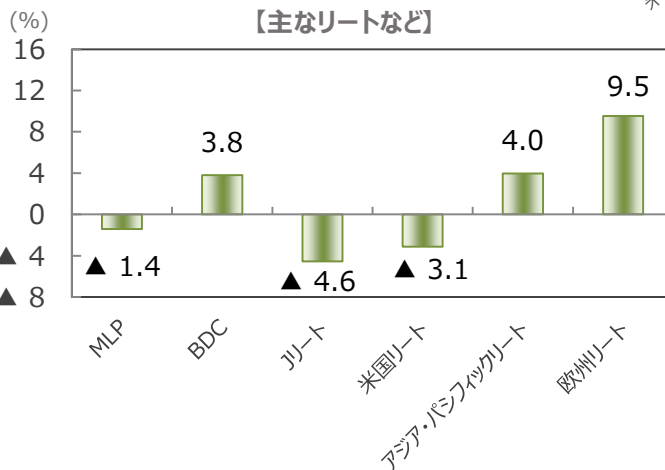
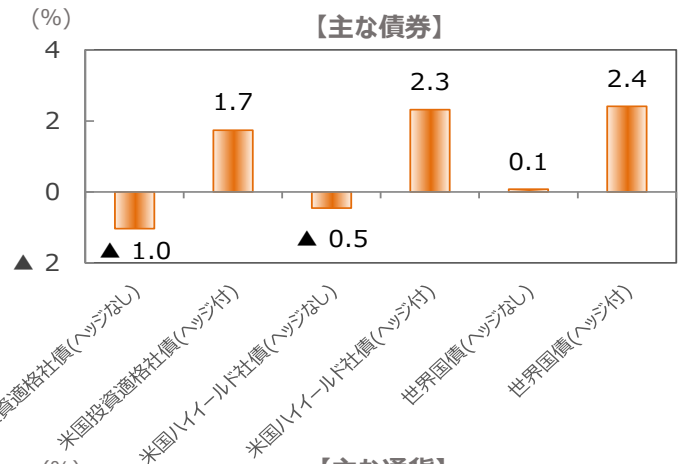
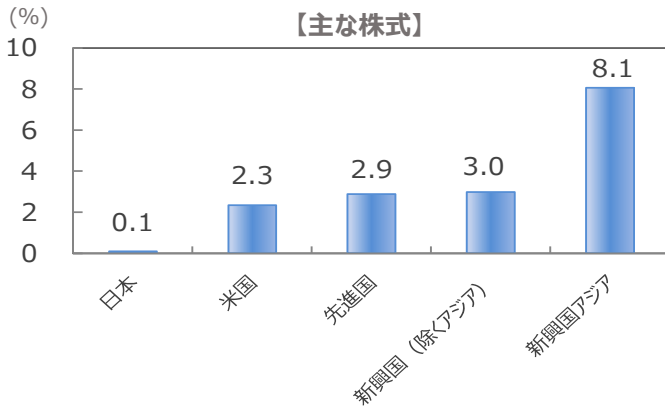


トランプ米大統領就任 100日の振り返り (1)

Q 主要な資産のパフォーマンスを比較すると？

A 外国株式は総じて堅調で、債券は為替ヘッジ付が安定したパフォーマンスでした。リート市場では欧州リートが堅調でした。

- トランプ米大統領の就任後100日の間、総じて円高が進みました。主要資産のパフォーマンスを見ると、外国株式は総じて底堅く、特に新興国アジアが堅調でした。債券では為替ヘッジ付が安定したパフォーマンスとなりました。リートは欧州リートが大きく上昇する中、アジア・パシフィックリートも堅調でした。



(注1) 大統領就任日(2017年1月20日)と100日目(2017年4月28日)の比較。

(注2) 株式：MSCIベース。債券：Bloombergバークレーズベース。リート：S&Pベース。BDC：ウェルスファーストBDC・インデックス。

MLP：アレリアンMLP・インデックス。各指数はすべて円、トータルリターンベース。

(出所) Bloomberg L.P.、FactSet、S&P Dow Jones Indices LLCのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。